

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
コロニー児童デイサービスとみぐすく発達支援		令和7年3月24日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		発育・年齢の状況や支援内容によって、活動する場所を区切ったり、一日の活動を二つに分けて支援することもある。また、フロア全体をオープンにして、フロア全体を使ってより広く空間を使う工夫もしています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		定員に対して職員は常時、5～6割の人数で支援していますが、児童の状態によっては、マンツーマン又は2人で支援する工夫もしています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		来所した際の児童自身の荷物片づけから、手洗いまでをひとつの導線にしたり、今日の活動、当番、着替える手順等を可視化しています。児童の状況に応じて、その都度、環境空間を整える工夫をしています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		活動ルームも広く、施設全体の敷地も広くとられており、室内活動、屋外活動ともに充実できるように整えています。児童の気持ちが上手く切り替えられなくなった時でも、一度外で遊ぶ等して、切り替えを促しやすい空間の活用を工夫しています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		ひとりになりたい時には、扉のあるお部屋で職員とお話したり、遊ぶこともできる環境があります。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		月に2回、職員会議を設けて活動の組み立てや、個別の支援について協議しています。状況によっては、追加で会議をすることもあります。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		意見をお聞きし、次年度どのように改善していくかの話し合いを行っています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		昨年は3回、個別聞き取りを行い、意見をまとめて全体会議でどのようにした方が良いかなど、話し合いをして改善に繋げています。また、様々な意見が出ている場合は、その都度、ミーティングで全体の意見を聞き、改善対策しています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	6	第三者による外部評価は行っていません。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		昨年は、基本的な研修(虐待防止、災害避難訓練等)の他、アタッチメント・感覚統合・救命法・ペアトレ・小児領域認知行動療法の研修を実施しています。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1	プログラムは作成されており、毎日実施されていますが、公表については令和7年3月に公表される予定です。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		計画の見直し時期にも実施していますが、こどもの成長段階に合わせてその都度実施する場合があります。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		毎月会議を実施し、ご家族から聞き取りした内容も含め、職員と共に検討しています。計画作成以外の時期でも気になるこどもについては実施しています。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		計画内容をご家族が確認したのちに、職員に伝達、説明し、日々活動記録でも計画に沿った内容で記載しています。現況がどうかをミーティングや連携簿で確認し、支援方法に工夫が必要な場合は、その都度変更している。	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		5領域に合わせたアセスメントを作成し現況確認をしています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		職員間で話し合った内容を活動プログラムを作成する職員が取りまとめ、その後、管理者が安全性等を確認した上で作成しています。時にはご家族から希望いただいた活動を取り入れることもあります。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		児童の特性に合わせた活動、家族が求める社会性の部分なども考慮しながら2ヶ月前から日々の活動計画を立てています。その際に、児童が楽しんで取り組める内容になっているか?も含めて検討しています。地域イベント等が、急遽予定される場合は、活動を変更する対応もしています。	施設内にある畑を活用して、野菜や花を育てるなどの活動をもっと取り入れて行きたいと考えています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		アタッチメントの視点からスペシャルタイム(自分で選べる時間)を設けています。その後、集団活動の実施を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	2	シフト勤務のため、全員が同じ時間で出勤しないこともあり、連携が上手くいってない時があります。イベントなどの活動行事等については、事前にタイムスケジュール、役割等を含めた計画書を立てて、全員で確認できるようにしている。シフトで出勤しても、連携事項は確認できるように、連携簿を作成しました。日々の支援の役割等については、ホワイトボードにタイムスケジュールで可視化し、出勤時に確認できるようにしました。	連携簿の記載忘れがないように確認します。また、記載がない場合は、各々でリーダーに確認をし、連携が途切れないようにする必要があります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	シフト出勤のため、当日職員全員で打ち合わせをすることができず、翌日に連携するが、全員に共有できていないことがあります。	連携簿を使用し、各自が確認できるようにしています。記載することを忘れずにする必要があります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		こどもの状況によっては、活動の内容を変えて検証することも行っています。実施後は職員間で改善すべきこと、対応の仕方について共有して取り組むこと実施しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		定期的モニタリング実施の他、日々のこどもの様子を観察しながら、必要に応じてモニタリングを実施しています。	
関係機関	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		担当者会議参加前に、職員間で対象児の状況を再度確認した上で、参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		個々のこどもの状況に合わせて連携を行っています。時には共同で支援法を決めている場合もあります。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		現在、小学校入学前の移行に向けた支援を行っています。ご家族から移行支援中の児童の自宅での様子を聞き取りしながら、スムーズに移行できるように相談支援を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		関係機関の会議を開催してもらい実施しています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				今年度は外部研修2回実施、参加していない職員へも伝達研修を実施しています。	

保護者との連携	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			自立支援協議会への参加を行っている。	
	31	(31は、事業所のみ回答)			こちらから直接相談することはなかったが、相談支援専門員へ相談し、そこから基幹相談支援へ繋いでいただき、課題対応したことがありました。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	5		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8		保育所、こども園、幼稚園等との交流はないが、公園や図書館、児童館、地域イベント等に参加し他のこどもと活動する機会を作っています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			日々、こどもの成長があり、支援方法もその都度変更があるが、十分職員間で共通理解を持っているかといわれると、少し不十分なところもあると感じる面があります。連携簿を活用して、リアルタイムに支援状況の共有を図ることや、課題の把握と理解を深められる工夫が必要と感じます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	4	ご家族間の情報共有、相談のためのゆんたく会を行っています。2月のゆんたく会では、感覚統合についても少し触れて行いました。	ご家族へ、こどもに対しての対応力向上のための説明ができるように、次年度は職員のスキルアップを図る研修を取り入れていきたいです。また、ゆんたく会で研修、情報提供ができるように検討していきたいと思います。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		ゆんたく会の開催と、親子参加イベントの実施。ゆんたく会ではこども達は兄弟児も一緒に別室で預かり保育しています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		個別の相談をその都度受けています。また、こども達に関しては、言葉で上手く伝えきれないこどもが大半で、様子等を保護者に伝え、不安なく療育に取り組めるように工夫しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		コドモンアプリを利用して日々の連絡を行っている。それ以外に2ヶ月に一度のみぐすくだよりの発行や毎月の行事予定を配布しています。イベント等によってはタイムスケジュール等を記載した活動計画書を配布しています。	今年度、実施した活動等を元に、次年度はどのような活動をプログラムしていくかを3月頃に検討する機会を設け、年間行事を決めています。とみぐすくだよりは活動のみの発信ですが、支援方法や健康についてのおたよりも年に数回発信していく検討をしたいと思います。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	7	地域住民に対して招待するまでは行えていないが、近隣の学童さんとは、お互いに招待を行い交流しています。	近所の方などが、気軽に立ち寄れる場所として、畑に定期的に花を植えることを検討してみます。
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	6	年間行事や安全計画があり、発生を想定した訓練の実施や、マニュアルの見直しをできています。実施状況や見直し部分を周知することで家族の安心感も得られていると感じます。	マニュアルについては、年に1度、家族、職員ともに内容の確認、周知する機会を設けていきたいと思っています。	

非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		非常災害発生に備えた定期的な避難の仕方、救命法の訓練などを実施できたことで、職員も緊急で何かあった時に対応する自信に繋がりました。	BCP策定されているが、内容については随時、職員間で確認周知していくようにしたいと思います。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		利用開始時に、ご家族へ健康調査票の提出をお願いしています。また、アセスメントシートでも年に1度、面談を通して確認をしています。	利用途中から、服薬開始や予防接種をする場合があり、健康調査票は年1回提出依頼していただいた方が良いか検討していこうと思います。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		現在、アレルギー対応を支援している児童がおり、給食についてはデイでの提供が難しいが、おやつ等については医師、家族からの連携通りで対応しています。	アレルギーのあるなしにかかわらず、突飛に、アレルギー症状がでる場合もあるため、アレルギー症状対応マニュアルについては、年に1度、内容を確認する必要があると感じています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			年間通して実施された内容を確認した上で、追加で実施した方が良い研修や実施時期についても検討し、次年度の計画を策定していきたいと思っています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		口答やコドモンのお便りで配信、お手紙で周知しています。	周知できている内容と、できていない内容があったので、周知の仕方についてもきちんと整えられるように検討する必要があります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			ヒヤリハット報告書として提出している事が少なかった。実際にはヒヤリハットに値する内容もあったりするが、その場で職員間で協議対策し、口答周知のみになっていることもあったので報告書として提出できるように取り組んでいきたいと思っています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	6		現在、身体拘束の必要な児童がいないため、計画書に記載はないが、対象児童がいる場合は事業所の手順に沿って身体拘束が必要であるかないかを判断し、家族への十分な説明と承諾を頂き記載することになります。	